

原田市長の

さんぽみち

散歩道



司馬遼太郎の代表作の一つ「坂の上の雲」がNHKの特別ドラマとして、今月末から日曜日の夜に放映される。愛読書のテレビ化ゆえに大変楽しみにしている。

物語は、明治の初期、四国の松山の下級武士の家に生まれた秋山好古・真之兄弟と正岡子規が凜とした志を持って上京し、それぞれ軍人、俳人として生きていく姿が、日露戦争を背景に描かれている。明治時代という日本の黎明期を通して、若者が希望を持って生きていくことがいかに素晴らしくことであるかを伝えたい。

「私の愛読書」

「坂の上の雲」という印象的な題名も明治維新後の新しい国づくりの坂を一生懸命登って行くと、目指す方向の空に白く雲が浮かんでいたというところから名付けられたものと思う。

主人公の一人、正岡子規は、小説にこそ出てこないが、明治22年に松山へ帰省する際に、袋井駅からの景色を『冬枯の中に家屋や村一つ』と詠んでいる。昭和32年には、駅前に、この記念碑が建てられた。私も数年前、松山市で開催された

全国街道交流会議へ市民有志の方々と出席した折、子規記念博物館へ寄ったり、浜松出身の松山市の助役さんに会って、子規の句を通しての今後の交流の話をしたりした。

15倍以上の兵力を有した当時の超大国ロシアと戦って、かろうじて勝った日本を評価したベトナムでは、東遊運動が起った。フランスの圧政からの独立を目指す志士たちが日本へ来て援助を求める

が、日本政府の反対にあって苦難の道を行んでいる中、袋井出身の浅羽佐喜太郎が一人、この独立運動家たちを助け、これがベトナムの独立へとつながっていった。今でもベトナムでは、浅羽佐喜太郎が義侠の士として敬愛されている。

「坂の上の雲」との出会いには、私が就職して間もない昭和43年に産経新聞の連載小説として読んだ時であった。史実を丹念に調べ、それを大きなスケールに組み立てる司馬遼太郎の作風が好きであり、ひたすらまっすぐに歩いて行く主人公の姿に心打たれるからである。

1人分の野菜量52g



『毎月19日は、食育の日』 心も体もあたたまる汁物です のっぺい汁

●材料(6人分)

- 鶏肉 50g
- サトイモ 200g
- ダイコン 200g
- ニンジン 40g
- こんにゃく 1/3枚
- シイタケ 2枚
- 万能ネギ 2~3本
- サヤエンドウ 8枚
- だし 4.5カップ
- 調味料 [塩 小さじ1.5
- しょう油 小さじ0.5
- 酒 大さじ1
- 片栗粉 大さじ1.5

●作り方

- ①鶏肉は一口大のぶつ切り、サトイモは皮をむいて2~3mm厚さの輪切りにする。ダイコンとニンジンは短冊切り、こんにゃくは2~3mm厚さの短冊に切る。シイタケは軸を取りせん切りにする。
- ②万能ネギは小口切りにする。サヤエンドウは筋を取って色よくゆでる。
- ③鍋にだしと①を入れて火にかける。煮立ったら表面に浮いたあくを取り、静かな沸とうで4~5分煮て、調味料を加え味付けする。
- ④最後に水溶き片栗粉を加え、とろみをつける。

●栄養価(1人分)

エネルギー55kcal/たんぱく質3.6g/脂質0.7g/カルシウム29mg/鉄0.6mg/ビタミンC10mg/食物繊維2.1g/塩分1.7g

●薬膳まめ知識 根菜やいもは、おなかの働きを助けます。鶏肉には、体を温め、滋養を高める働きがあります。

表紙のことば

10月15日~17日、可睡齋で山名わくわくスポーツクラブによる通学合宿が行われ、小学1~5年生19人が参加しました。

2泊3日の合宿の中で、児童たちは、お寺のルールに従いみんなで一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったりしたほか、お坊さんの話を聞いたり、早起きして座禅をしたりと、普段の生活とは違った集団生活を体験し、強い意志や思いやりの心などを育みました。

2日目の朝は、可睡齋から小学校へと元気に登校。楽しい合宿でどんな思い出ができるかな？



■袋井市メール配信サービス「メローねっと」

◇携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、防災情報やイベント情報など、暮らしに役立つ行政情報を市民の皆さんに配信しています。

◇登録は無料です。ぜひご利用ください。

登録方法 メローねっと登録アドレス(mellow-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com)に空メールを送信し、返信される案内に従い、ご登録ください。

◇二次元コード対応の携帯電話をお使いの方は、右の二次元コードからもアクセスできます。

